



## 絆——すばらしい感動をありがとう

まず皆様に感謝申し上げます。  
 実に3,300人の会員諸兄のご登録をいただきました。  
 当地区大会はじめての記録であり、  
 日本一の数を誇るわが2650地区96クラブの誇りです。  
 RI会長代理の関場様ご夫妻、山田京都府知事、榎本京都市長、  
 村田京都商工会議所会頭様をはじめ、  
 RI理事、元理事の方々、たくさんのご来賓の方々、  
 そして全国から同期のガバナーも大挙して、駆けつけていただきました。  
 ありがとうございました。  
 厚く厚く御礼申し上げます。

1年の集大成であります地区大会に、  
 私は3つのテーマを意識して取組んでまいりました。  
 ひとつは新世代、青少年の諸問題。  
 まず身近な家族、児童、地域、人々を巻き込んだ奉仕活動で  
 ロータリー活動の理解の輪を広げたいという想い。  
 これは、この度の「若者と語ろう」というプログラムで実現しました。  
 千 玄室RI元理事の体験からお話いただいた教訓、  
 そして、内閣官房 教育再生会議担当室 室長 義家 弘介先生と小・中学生の皆様、  
 PTA、先生方を交えたフォーラムで、真剣な子ども達が発表する数々の意見に深い感銘を受けました。  
 いじめがなくなり、人と人の絆が深まることを願っています。

二つ目は、ロータリーの金看板であります職業奉仕。  
 村田 京都商工会議所会頭様と、堀場パストガバナー、  
 そして私とで鼎談させていただき、  
 企業の社会的な責任のテーマで貴重なお話を伺いました。

そして三つ目は、藤原 正彦様の「国家の品格」で、  
 日本人として、ロータリアンとして、いかに品格が大切か、  
 また、いかに活動すべきかのご教示をいただき、本大会を締めくくっていただきました。

感動の2日間を、皆様と共に有意義に過ごせました。  
 最後の最後まで、ご参加いただいた皆様に、もう一度お礼申し上げます。  
 ありがとうございました。

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井 義久